

## 奈良県立添上高等学校の探究活動を実施しました

12月12日に、高校1年生を対象とした奈良県立添上高等学校普通科人文探究コースの探究活動を実施しました。添上高等学校人文探究コースは令和3年度に開設し、今年で3年目となります。

探求活動を担当する奈良教育大学 ESD・SDGs センターの中澤静男教授と大西浩明特任准教授、杉山拓次研究員は、生徒に対し、「奈良から学ぶSDGs」の講義とフィールドワークを実施しました。

参加した高校生は「東大寺コース」「ならまちコース」「春日山コース」の3コースに分かれ、奈良にある歴史文化遺産とSDGsの関連について講義を受けた後、「東大寺コース」では大仏殿や二月堂、「ならまちコース」では元興寺や庚申堂など、「春日山コース」では春日山原始林を巡り、従来の遠足や観光とは異なる視点から奈良の歴史文化遺産を見学・体験しました。

フィールドワーク後には、短時間で学びをまとめる即興プレゼンを行い、一日を通しての学びを発表しました。

発表では、フィールドワークを通じてみつけた持続可能な社会の維持のためのキーワードや問題点について、生徒独自の意見が発表され、担当した教員からは、「探求を通じて、面白いと興味をもった事柄に主体性をもって関わっていき、自分の世界を広げてほしい」との講評がありました。

ならまちコースの様子



東大寺コースの様子



春日山コースの様子



即興プレゼンの様子

